令和6年度

広報

緑が丘まち協

令和７年３月発行　発行者：緑が丘まち協広報誌編集委員会　〈緑が丘まちづくり推進協議会事務局：旭川市神楽支所〉

緑が丘まちづくり推進協議会は

様々な団体が、地域課題や解決策について
意見交換を行っています。

※市民委員会

旭川市では、各地区の町内会が複数集まって「地区市民委員会」が組織されており、市内には現在61の地区市民委員会があります。
旭神・神楽岡東・緑が丘・西御料地・緑が丘東
の5地区が「緑が丘まち協」の対象地区です。

令和6年度委員紹介

会　長	石　井　秀　幸（神楽岡東地区市民委員会）
副会長	大　西　昭　和（緑が丘東地区市民委員会）
委　員	荒　　美　月（公募委員）
	石　塚　英　俱（緑が丘地区市民委員会）
	今　井　　敦（神楽・西神楽地域包括支援センター）
	大　瀧　政　尚（旭神市民委員会）
	木　嶋　あ　み（公募委員）
	田　中　　浩（西御料地地区社会福祉協議会）
	内　藤　奏　子（緑が丘地区小・中学校長会）
	藤　田　嘉　之（旭川市消防団）
	桝　田　由美子（緑が丘地区民生委員児童委員協議会）
	萬　藤　庫　治（西御料地地区市民委員会）
	森　　浩　美（旭川医科大学）
	山　内　　洋（公募委員）
	山　脇　兼　治（緑が丘地区社会福祉協議会）

ごあいさつ

緑が丘まちづくり推進協議会
会長 **石　井　秀　幸**

2020 年 2 月に始まった「コロナ騒動」は、地域の様々な活動を停止させ、挙句の果てには歴史の浅いこの地域の文化的活動も休止に追いやられました。

「神楽の花火大会」「旭神のアイスキャンドル」といった多くの市民の目を楽しませていた行事や、町内会単位・市民委員会単位で行われていた「盆踊り大会」も激減し、私が小さい頃の８月７日夜には「ろうそく出せ、出せよ～～」と町内の家々を回っていた行事も、親が同行するようになり、いつしかろうそくもお菓子に代わりましたが、その子供文化もコロナ騒動を期に消えてしまったようです。

町内会未加入世帯増・少子高齢化という社会の流れが街の元気を少しずつ奪い始めたのを心配した緑が丘まちづくり推進協議会は、令和５年に「５地区ふれあい交流事業」を立ち上げ、子供から高齢者まで楽しめるような様々な活動を仕掛け、安心・安全なまちづくりに笑顔と元気をプラスさせて、この地域の健全な活性化を図っております。

旭川市は、万が一の際に避難所とする小中学校の防災設備や備蓄の推進など、防災体制を強化しています。当まち協も毎年防災に関連する事業を展開し、怪我人や死者を一人も出さないよう、訓練・啓蒙に努めております。

人間は決して一人では生きられません。今年も地域の方々と協力し、元気なまちづくりを目指してまいりますので、お力を貸して頂けますよう、お願いいたします。

議事録は市のホームページに掲載しています。
https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/408/machikyou/d063395.html

～ 今年度実施した緑が丘

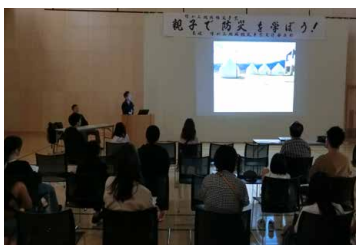
緑が丘地域防災事業

『親子で“防災”を学ぼう！』

とき 令和6年9月7日(土)
午前9時～午後0時

ところ 緑が丘地域活動センター グリンパル

地域全体の防災への意識づけに取り組んでいくことを目的に、親子向けの防災教室を実施しました。
当日は、防災ミニ講話のほか、非常食試食や防災に関する様々な体験メニューに取り組み、最後は大迫力のポンプ車放水体験で締めくくられました。


防災ミニ講話
「災害時の行動について」

避難所での生活スペースを知ろう

段ボールベッド組立体験

非常食試食

救急車見学

心臓マッサージ体験

水消火器体験

ポンプ車放水体験

健康講座

『健康長寿とロコモティブシンドローム』

とき 令和6年10月5日(土)
午前10時～午後0時

ところ 西御料地小学校体育館

＼attention／
ロコモティブシンドロームとは
骨、関節、筋肉などの運動器の働きが衰えることで、要介護になる危険性の高い状態

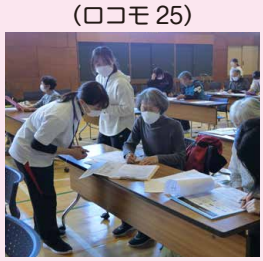
講義　「ロコモティブシンドロームってなに？ ー健康寿命を延ばすにはー」
講師　旭川医科大学病院リハビリテーション部　副部長　呂　隆徳　氏

ロコモティブシンドロームの基礎知識や、健康寿命を延ばすために大切な要素について、具体例を挙げながら分かりやすくお話をいただきました。

ロコモ度テスト
旭川医科大学の看護学生さん達のサポートのもと、３つのテストを行い、参加者のロコモ度をチェックしました。

（立ち上がりテスト）

（２ステップテスト）

（ロコモ 25）


健康チェック
保健師による健康相談及び血圧測定、棒反応・握力・体組成測定を行いました。

予防運動「ロコトレ」
自宅でも実施できる簡単なトレーニング方法について、参加者全員で実践しました。

まち協事業を紹介します ～

５地区ふれあい交流事業

緑が丘地域の５つの市民委員会が連携し、年代を問わず気軽に参加できる世代間交流の場を提供することで、住民同士のつながりや地域の活性化へつなげることを目的に、地区対抗の各種交流イベントを実施しました。

ペタンク大会

とき 令和６年10月14日㊊･祝
午前9時～午後０時

ところ 西御料地小学校グラウンド

昨年に続き、晴天に恵まれた初戦！
43名の地域住民が、フランス発祥の球技・ペタンクに挑戦しました。

モルック大会

とき 令和６年10月26日㊏
午後１時～午後３時

ところ 緑新小学校グラウンド

２戦目は、道内で世界大会も開催され、今大注目のモルック！ 44 名の地域住民が、話題の競技に挑戦しました。

フロアカーリング大会

とき 令和６年11月17日㊐
午前9時～午後０時

ところ 緑が丘小学校体育館

３戦目は、各地域で人気の高いフロアカーリング！
92 名の地域住民が結集し、チーム総当たり戦による熱戦が繰り広げられました。

紙ヒコーキ大会

とき 令和７年１月19日㊐
午後１時～午後４時

ところ 西御料地小学校体育館

４戦目は、誰でも手軽に楽しめる紙ヒコーキ！
各地区の多世代選抜メンバー51名が、折り紙ヒコーキを飛ばして距離を競いました。

健康麻雀

とき 令和７年２月16日㊐
午後０時～午後５時

ところ 緑が丘住民センター

最終戦は、頭の体操 ・ 健康麻雀！
各地区から選りすぐりの47名が、１ラウンド70分の時間制で全３ラウンドを戦いました。

緑が丘地域における教育機関の取組

～旭川南高等学校の教育活動～

寄稿：北海道旭川南高等学校

旭川南高等学校は、私立、市立、道立普通科を経て、平成 21 年に旭川北都商業高等学校と統合して誕生した都市型進学型総合学科の高校です。道内に総合学科は 19 校あり、特徴は「産業社会と人間」（産社）や「総合的な探究の時間」（総探）など、キャリア教育の充実が挙げられます。本校では「学問・職業調べ」「ライフプラン」「フィールドスタディ」「ブックトーク」などを産社で学び、２年次は「課題研究」を通して探究的な学習を深め、３年次には「進路探究」を活用し、多様な生徒への進路指導を行っています。選択科目が多いことも総合学科の特色で、本校では生徒の興味関心を高め、進路に結びつく多くの学校設定科目を用意しています。その結果、東京大学をはじめ、北海道大学、千葉大学、早稲田大学といった難関大学へ多数進学者を輩出するなど、大きな進路実績を上げています。

また、部活動や行事も盛んで、生徒達は文武両道の充実した高校生活を過ごしています。

課題研究（ポスター発表）

隣国コミュニケーション（ロシア語）

学校祭（万灯行列）

除雪ボランティア

総合学科の中心となるのは「課題研究」です。研究の手順は、研究テーマの設定、先行研究の調査、仮説立て、研究計画作成、検証（調査研究、実験等）、ポスター作成、スライド発表、論文完成、これらを１年かけて行います。研究テーマごとにゼミを編成し、研究の節目にはゼミごとの中間発表を行います。発表を通して、主体的・協働的に取り組む姿勢を学び、互いの良さを認め合い、各自の研究をより深いものにしていきます。併せて、プレゼンテーション力の向上や論文作成方法の習得といった総合力の育成を図っています。

例年 12 月には、市内の大学の先生を招き、課題研究発表会（スライド発表）を開催して各ゼミの代表が研究の成果を発表します。その後、論文をまとめて課題研究は終了します。

地域について もっと知りたい！

～緑が丘地区市民委員会の紹介～

緑が丘の街は、新住宅市街地開発法により、昭和 45 年から 5 か年計画で開発され、道営団地・市営住宅・戸建て住宅からなるまとまりのある一大団地です。

また、旭川医科大学をはじめ、旭川南高等学校、旭川工業高等学校や各種専門学校、小中学校、保育所、幼稚園などがあり、「文教地区」とも言われております。

街には「ニュータウン」という素敵で新鮮なネーミングを付けてもらい、発展してきました。緑が丘の基本方針は「人にやさしい街」で、街並みはユニット方式の歩車分離です。迷路のような街とも言われており、慣れない方は迷子になるそうです。

小さかったプラタナスの街路樹も立派になり「プラタナス並木」と称され、観光バスも通過していくようになりました。道端にはハーブが植えられ「香りロード」と名付けられ、心を和ませてくれます。

緑が丘地区市民委員会は昭和 47 年を発足の年とし、既に 50 数年経ちました。人とのつながりを大切にし、親睦を深める行事を数多く計画してきました。多くは現在まで引き継がれております。

数ある地域行事の中から、今年度実施事業を幾つか紹介します！

ふれあい歩こう会

ふれあい音楽祭

緑が丘文化展

親子もちつき会

記事担当：緑が丘地区市民委員会会長　石塚　英俱
（緑が丘まちづくり推進協議会委員）